

Johnson & Johnson

「Value of Time」キャンペーン第 2 弾 患者さん視点での新しい調査結果を発表

**肺がん患者さんは「生存期間を延ばすために、できるだけ効果に期待ができる治療」を最も重視、
重視以上の割合は 90%**

Johnson & Johnson（日本における医療用医薬品事業の法人名：ヤンセンファーマ株式会社、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：クリス・リーガー、以下「J&J」）は、肺がん患者さんにご家族や大切な人と過ごすかけがえのない時間への希望を持ち続け、未来を思い描きながら治療に臨んでいただきたいとの思いから、「Value of Time」キャンペーンを展開しており、この度、キャンペーンの第 2 弾として調査結果とキャンペーン動画を公開します。

今年 7 月に J&J が実施した調査の結果では、肺がん患者さんは初回薬物治療を決める際の価値観として「生存期間を延ばすために、できるだけ効果に期待ができる治療」を最も重視していました。また、治療の段階にかかわらず「家族や大切な人と一緒に過ごす時間をできるだけたくさん持つこと」を大事な価値観として考えていることがわかりました。

そこで本日、患者さんがこれらの想いを医師に伝え、納得できる治療を見つけることができるよう、広く呼び掛けていくための動画も公開しました。

J&J が実施した、肺がんステージ IIIB～IV もしくは術後再発と診断され、薬物療法を実施した患者さん 188 人を対象とした調査では、主に以下の点が明らかになりました。

■ 初回薬物治療を決める際「生存期間を延ばすために、できるだけ効果に期待ができる治療を受けたい」を非常に重視 45%、重視以上は 90%

患者さんが初回薬物治療を決める際に「非常に重視していた」として、最も多かったのは「生存期間を延ばすために、できるだけ効果に期待ができる治療を受けたい」で 45%、次に「家族や大切な人と一緒に過ごす時間をできるだけたくさん持ちたい」で 40%を占めました【図 1】。「非常に重視している」と「重視している」を合計するとそれぞれ 90%と 91%を占めます。

■ 現在は「家族や大切な人と過ごす時間をできるだけ長く」、「希望を持って前向きに過ごす」を非常に重視 52%、重視以上は 94%と 96%

また、現在の状況で「非常に重視している」として、最も多かったのは「家族や大切な人と一緒に過ごす時間を、できるだけたくさん持ちたい」、「病気があっても、希望を持って前向きに過ごしたい」で 52%を占めました【図 2】。「非常に重視している」と「重視している」を合計するとそれぞれ 94%と 96%を占めます。

初回治療時も現在も、45%の患者さんが少しでも長く生きるため、効果の期待できる治療を受けたいと考えていました。また、治療の段階にかかわらず、患者さんの「家族や大切な人と過ごす時間をできるだけ長く持ちたい」との思いは大きく変わらず、患者さんにとって大事な価値観の 1 つであることが明らかになっています。

■ 初回薬物治療に求めること、27%は「がんが進行・増悪しない期間が延びる」、「生存期間が延びる」

初回薬物治療に患者さんが求めることとして「がんが進行・増悪しない期間が延びること」および「生存期間が延びること」が最も多く、それぞれ 27%が、全生存期間や無増悪生存期間の延長を挙げました。そして次に多かったのが、「がんになる前と同じ生活が続けられること」で 20%でした【図 3】。

■ シェアード・ディシジョン・メイキング（Shared Decision Making: SDM）の実施度が高い人ほど、治療満足度も高い

初回薬物治療を実施する際の SDM の実態を調べました。その結果、SDM 高得点群の治療満足度は 10 点満点中 8.4 点、低得点群は 6.1 点と、SDM を実施している群の方が治療満足度も高いことが示されました【図 4】。

* 本調査における全回答者の SDM-Q-9 スコア（45 点満点）の中央値は 28 点であった。28 点以上を「SDM 高得点群」、28 点未満を「SDM 低得点群」と定義した。

本調査に協力いただいた、NPO 法人肺がん患者の会ワンステップの理事長である長谷川一男氏は次のように述べています。「家族や大切な人と過ごす時間が大事であるという結果に共感します。私たち患者にとって長く生きることに加え、かけがえのない時間をどのように過ごすかも重要です。患者の強い想いや価値観を主治医に伝えることで、納得のいく治療法の選択につながると考えます」

「Value of Time」動画について



本動画では、患者さんが肺がんと診断され、これから病とともに生きていく上で、自分にとって何が 1 番大切なのかを、四季折々の情景、家族や仲間との思い出を振り返りながら考えます。そしてその中で、家族や自分の周りにいる大切な人との時間を過ごしていくことの大切さを改めて感じます。動画の後半では、患者さんがこれから病とともに生き、大切な人との時間を少しでも長く過ごすために、医師とともに治療について話し合うよう呼び掛けています。（動画は[こちら](#)）

J&J は、肺がんと闘う患者さんに希望をもち、かけがえのない 1 分 1 秒を応援し支えていくため、今後、患者さんや専門医のインタビュー動画などを紹介して参ります。

【調査概要】

調査主体：Johnson & Johnson（法人名：ヤンセンファーマ株式会社）

調査協力：NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ

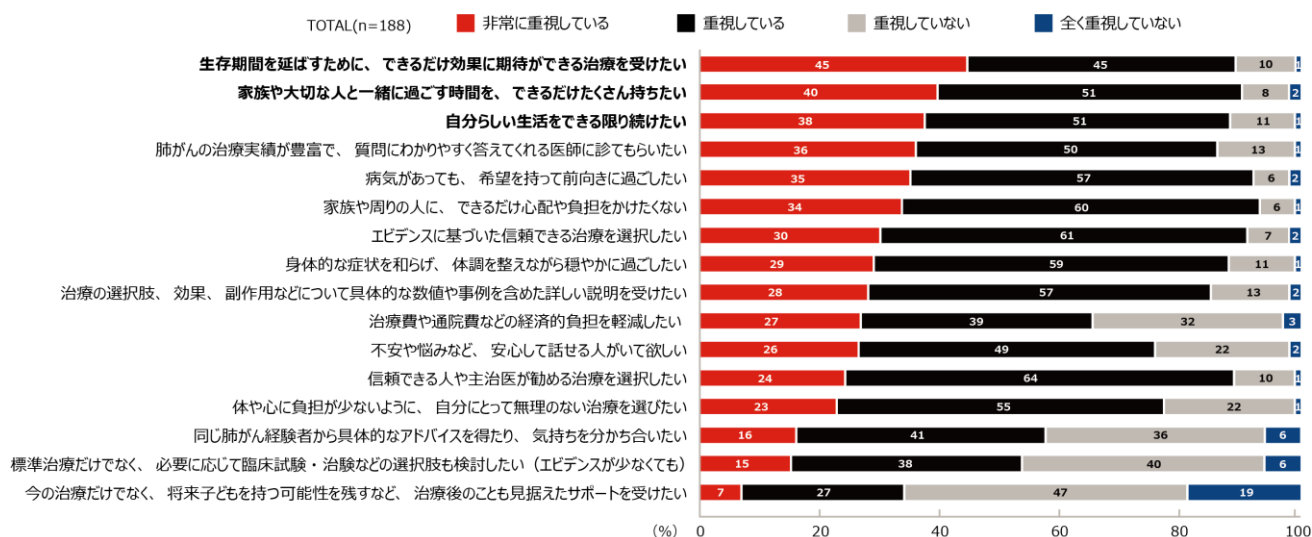
調査期間：2025年7月22日～29日

調査対象者：局所進行又は遠隔転移があるステージ IIIB～IV 及び術後再発と診断され、薬物療法を実施した患者さん
方法：インターネット調査（調査実施会社：株式会社インテージヘルスケア）

【主な調査結果】

【図1】初回薬物治療決定時の価値観（n=188）

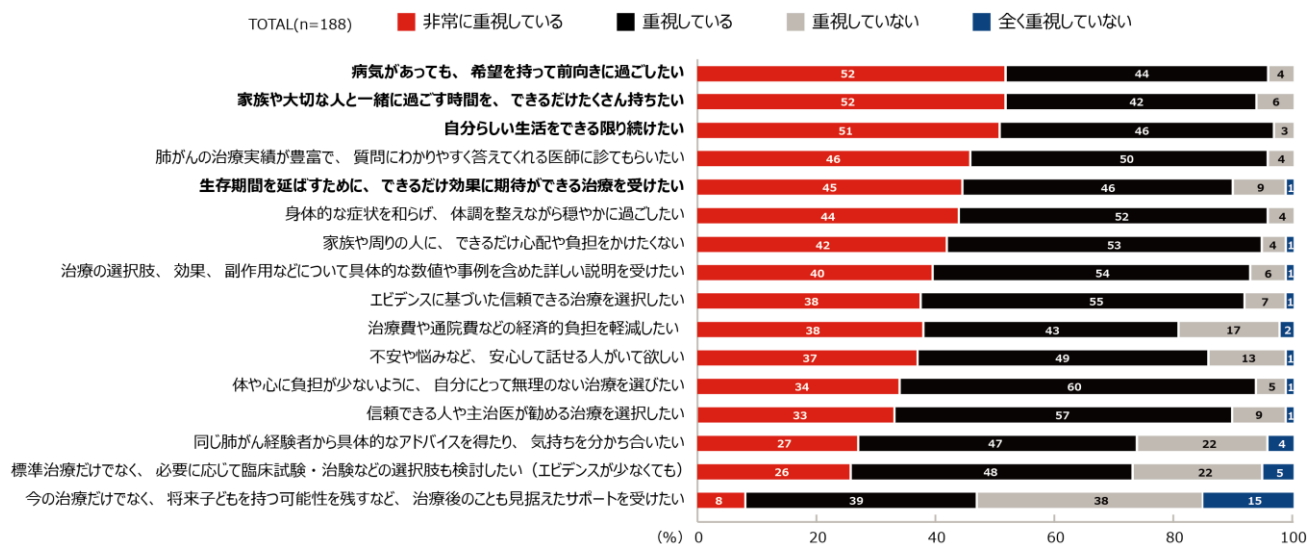
- 初回薬物治療決定時に非常に重視していたこととして、45%の患者さんが「生存期間を延ばすために、できるだけ効果に期待ができる治療を受けたい」と答えており、「家族や大切な人と一緒に過ごす時間を、できるだけたくさん持ちたい」（40%）、「自分らしい生活をできる限り続けたい」（38%）がそれに続く結果でした。



Q：あなたが初回薬物治療を決めた際の価値観（大切にしていたこと/信念）として、各項目がどの程度「重要であったか」をお答えください。
（複数回答）

【図 2】現在の価値観 (n=188)

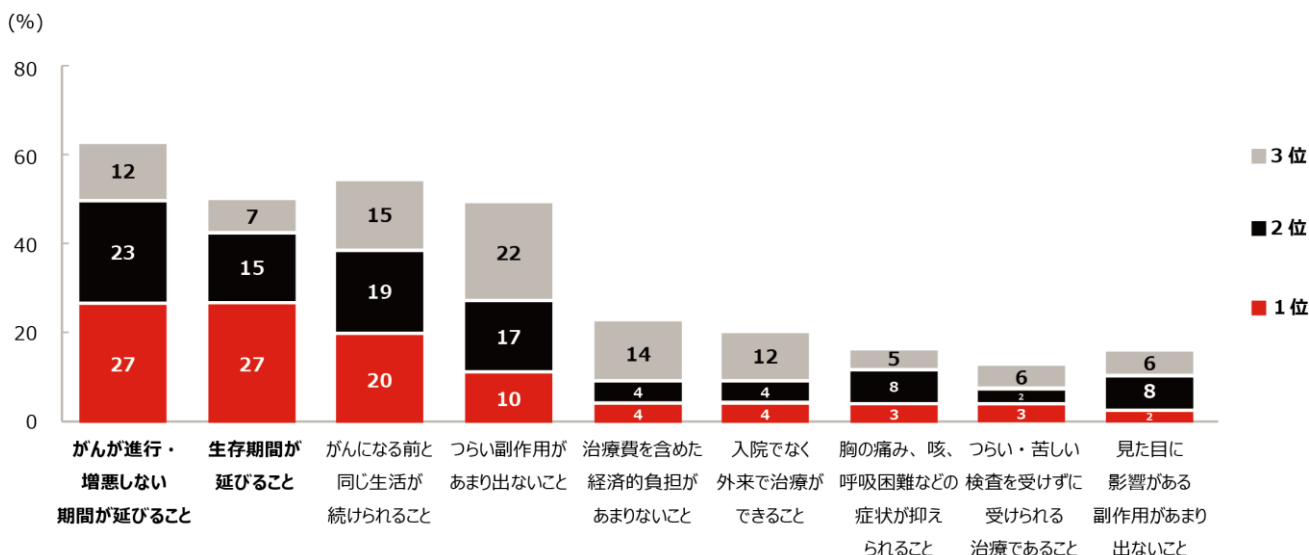
- 治療を開始した後、現在の患者さんの価値観は、「病気があっても、希望を持って前向きに過ごしたい」(52%)、「家族や大切な人と一緒に過ごす時間を、できるだけたくさん持ちたい」(52%)、自分らしい生活をできる限り続けたい(51%) など、かけがえのない時間をどのように生きるかという価値観が高まる傾向がみられ、生存期間を延ばすことで実現したい未来が明確になることが示されました。



Q: 現在のあなたの状況における「価値観」として、各項目がどの程度「重要だ」と感じているかお答えください。(複数回答)

【図 3】初回薬物治療について望むこと (n=188)

- 1 位で最も多かったのは「がんが進行・増悪しない期間が延びること」と「生存期間が延びること」でいずれも 27%でした。



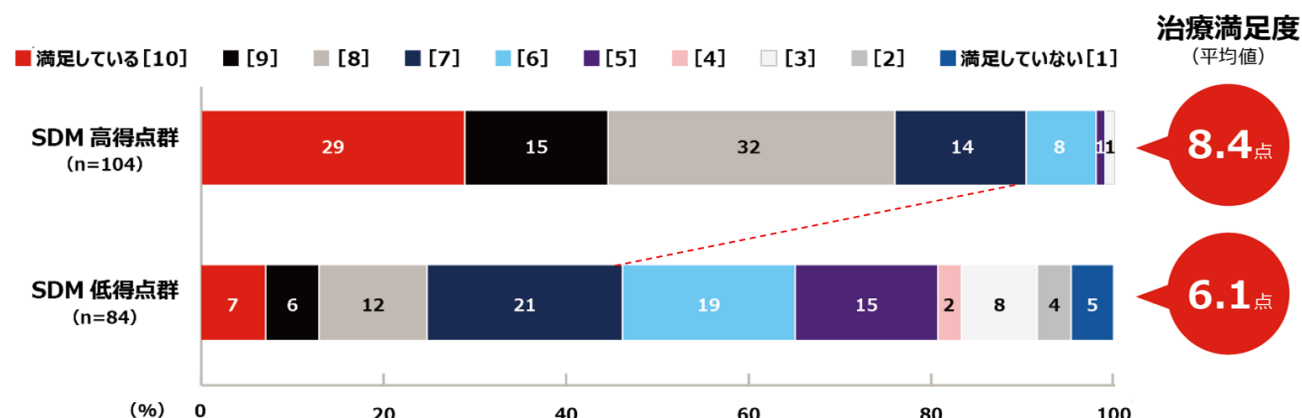
Q: 初回薬物治療でああなたが望んでいたことを、1 番目から 3 番目までお答えください。

【図 4】初回薬物治療に対する満足度

- 治療満足度は、SDM 高得点群が低得点群に比べて有意に高く、平均値はそれぞれ 8.4 点と 6.1 点でした。

➤ 満足度指数 7 以上で見ると、高得点群の 90%に対し、低得点群は 46%と大きく差が開きました。

* 本調査における全回答者の SDM-Q-9 スコア（45 点満点）の中央値は 28 点であった。28 点以上を「SDM 高得点群」、28 点未満を「SDM 低得点群」と定義した。



Q: 初回薬物治療を決めた際の進め方について、あなたの満足度を 10 点満点で教えてください。

Value of Time キャンペーンについて

世界的に医療イノベーションが加速し、肺がん治療の個別化と精密さが増す中、J&J は、革新的な医薬品を提供するだけでなく、肺がんと闘う患者さんに希望をもたらし、かけがえのない 1 分 1 秒を応援し支えていくためのさまざまな活動を「Value of Time」と名付け、展開しています。

患者さんが自身の治療選択肢を十分に理解したうえで、適切な治療を受けるためには、患者さんご自身の思いや考えを医師に伝え、医師とともに治療を選択する SDM が重要です。J&J は、肺がん治療におけるリーディングカンパニーとして、SDM の浸透を図り、日本国内だけでなく、世界の SDM や患者さんに資する情報を提供し、患者さんの 1 分 1 秒を後押ししていきます。

「Value of Time」キャンペーンサイト:

URL: <https://innovativemedicine.jnj.com/japan/value-of-time>

アジアパシフィックでの SDM の取り組み:

[This World Lung Cancer Day, we asked people for their 3rd Opinion | Street Interview](#)

Johnson & Johnson について

Johnson & Johnson は、健康こそすべてだと考えています。ヘルスケアイノベーションにおける私たちの強みが、複雑な病を予防、治療、治癒し、治療をよりスマート化した、低侵襲なものに進化させ、一人ひとりの患者さんに合ったソリューションを提供することができる世界を築く力になります。Innovative Medicine と MedTech における専門性を生かし、将来の飛躍的な進化に向けてヘルスケアソリューションの幅広い領域でイノベーションを推し進め、人々の健康に大きなインパクトを与えていきます。

日本における Johnson & Johnson Innovative Medicine について

Johnson & Johnson Innovative Medicine は、米 J&J グループにおける医療用医薬品事業の名称です。日本では、1978 年の設立以来、これまでヤンセンファーマ株式会社として、患者さんの治療に貢献する多くの医薬品をお届けしてきました。私たちは、アンメットニーズに基づく開発戦略のもと、注力疾患領域—がん、免疫疾患、精神・神経疾患、心・肺疾患領域における学術および情報提供活動を強化しながら、私たちの薬剤を必要とする全ての患者さんが適切なタイミングでベストな治療を選択するための活動を続けています。私たちは、医療の未来を切り拓き、日本の患者さんに革新的な医薬品をお届けしていきます。Johnson & Johnson Innovative Medicine に関する詳しい情報は www.jnj.com/innovativemedicine/japan/ をご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

Johnson & Johnson Innovative Medicine

コミュニケーション&パブリックアフェアーズ部

E-mail: JP-PR@its.jnj.com